速報 JR総連緊急対策本部情報

JR総連 東北地方太平洋沖地震 緊急対策本部情報

2011年3月15日

21:00 発行

発行:全日本鉄道労働組合総連合会

✓鉄道貨物輸送の出番>

田城 郁参議院議員 JR総連・JR貨物労組

民主党 東北地方 英請

田城 郁参議院議員とJR総連・武井委員長、萩原副委員長、JR貨物労組・伊藤委員長は3月15日、民主党内に設置された「民主党東北地方太平洋沖地震対策本部」を訪ね、被災地支援を具体的に要請しました。対応いただいた同事務局幹事・党副幹事長兼広報委員長代理(国土交通委員会筆頭理事)の藤本祐司参議院議員には、JR東労組が現地調査した被災情報を報告。食糧をはじめとした支援物資も大量に必要な反面、避難や配送もガソリン不足で困難なであること、物資は関東が品薄のため関西圏で確保し、そこからの大量輸送が必要なこと、さらに支援物資の大量輸送には、JR貨物のタンク車・貨車での輸送が適しており、JR貨物労使をあげて協力する用意があることなどを伝えました。

あわせて非常事態に鑑み、計画停電から鉄道輸送を除外・優先し、何としても政権与党の政治力で解決するよう求めました。

田城 郁参議院議員は13日、既にJR総連からの情報提供をもとに、同本部に概況を説明。被災状況の声を積極的に発信しています。

